

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|------|---------------------------|----------------------|-------------------|----------------------|------------------|-------------------|
| 医療 | | 歯科衛生士課程 | 歯科衛生士科 (旧カリキュラム) | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 2,700時間 単位時間/単位 | 1,108 単位時 間/単位 | 58 単位時 間/単位 | 1,519 単位時 間/単位 | 5 単位時 間/単位 | 10 単位時間/ 単位 |
| | | | 2,700時間 単位時間/単位 | | | | |
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 医療 | | 歯科衛生士課程 | 歯科衛生士科 (新カリキュラム) | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 2,674時間 単位時間/単位 | 1,304 単位時 間/単位 | 85 単位時 間/単位 | 1,271 単位時 間/単位 | 4 単位時 間/単位 | 10 単位時間/ 単位 |
| | | | 2,674時間 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 150人 | 108人 | 0人 | 7人 | 122人 | 129人 | | |

| |
|--|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) ①担当講師との打ち合わせ会議を開催し、シラバス作成ガイドラインに基づき各講師へシラバス作成を依頼する。各講師が作成したシラバスを各科の科長がガイドラインに沿って作成されているか、精査、確認する。 ②シラバスを冊子にしたものを学生へ配布、ガイダンス等において説明、周知する。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| (概要) ①成績評価は担当講師がシラバスに記載の「評価方法」に基づき、成績評価点数を100点満点に換算し客観的指標により評価する。なお、各科目の合格者は評価点数60点以上を取得した者とする。 ②各学年において履修・修得した授業科目の総点数(平均化)を総合成績とし、上位から25%を「優」、50%を「良」、25%を「可」と区分し、総合成績一覧表において表示する。但し、上記の区分に該当しない者は「不可」とする。 ③成績順位を決定する評価については、本試験の成績に基づくものとし、追試験、再試験の結果は考慮せず順位決定を行う。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) ①評価方法に関しては、各学年の学生が履修した授業科目についてシラバス作成ガイドラインに記載された成績評価法に基づき、厳格適正に評価し、単位を授与・履修認定を行う。 ②学生には「成績評価等に関する事項について」を配布し、年度初めのガイダンスにて説明し周知する。 |

| |
|--|
| 学修支援等 (概要) 総務部長、学生部長、衛生士科長、教務主任、副主任、担任、副担任によるカウンセリング、学習相談、健康相談、就職相談、生活相談を実施。 |
|--|

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
|---|------------|-------------------|------------|
| 42人 (100%) | 0人 (0%) | 42人 (100%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) 歯科診療所等 歯科衛生士 42名、その他 1名 | | | |
| (就職指導内容) 副学院長・学生部長による就職ガイダンス、登院試験、教職員による個別指導等を実施 | | | |
| (主な学修成果(資格・検定等)) 歯科衛生士国家資格取得 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

中途退学の現状

| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
|----------|----------------|------|
| 121人 | 12人 | 9.9% |

(中途退学の主な理由)
一身上の都合、進路変更、病気療養のため

(中退防止・中退者支援のための取組)
教職員によるカウンセリング、保護者面談等を実施

| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
|----------|---------|---------------------------|--------------------|-------------|----------------------|-------------|-------------|
| 医療 | 歯科技工士課程 | 歯科技工士科 (旧カリキュラム) | ○ | | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 2,088時間 単位時間/単位 | 402 単位時 間/単位 | 単位時 間/単位 | 1,686 単位時 間/単位 | 単位時 間/単位 | 単位時間/ 単位 |
| | | | 2,088時間 単位時間/単位 | | | | |

| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
|----------|---------|---------------------------|--------------------|-------------|----------------------|-------------|-------------|
| 医療 | 歯科技工士課程 | 歯科技工士科 (新カリキュラム) | ○ | | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1,970時間 単位時間/単位 | 518 単位時 間/単位 | 単位時 間/単位 | 1,452 単位時 間/単位 | 単位時 間/単位 | 単位時間/ 単位 |
| | | | 1,970時間 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 60人 | 22人 | 0人 | 5人 | 37人 | 42人 | | |

| |
|--|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） ①担当講師との打ち合わせ会議を開催し、シラバス作成ガイドラインに基づき各講師へシラバス作成を依頼する。各講師が作成したシラバスを各科の科長がガイドラインに沿って作成されているか、精査、確認する。 ②シラバスを冊子にしたものを学生へ配布、ガイダンス等において説明、周知する。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） ①成績評価は担当講師がシラバスに記載の「評価方法」に基づき、成績評価点数を100点満点に換算し客観的指標により評価する。なお、各科目の合格者は評価点数60点以上を取得した者とする。 ②各学年において履修・修得した授業科目の総点数（平均化）を総合成績とし、上位から25%を「優」、50%を「良」、25%を「可」と区分し、総合成績一覧表において表示する。但し、上記の区分に該当しない者は「不可」とする。 ③成績順位を決定する評価については、本試験の成績に基づくものとし、追試験、再試験の結果は考慮せず順位決定を行う。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要） ①評価方法に関しては、各学年の学生が履修した授業科目についてシラバス作成ガイドラインに記載された成績評価法に基づき、厳格適正に評価し、単位を授与・履修認定を行う。 ②学生には「成績評価等に関する事項について」を配布し、年度初めのガイダンスにて説明し周知する。 |
| 学修支援等 |
| （概要） 総務部長、学生部長、技工士科長、教務主任、副主任、担任、副担任によるカウンセリング、学習相談、健康相談、就職相談、生活相談を実施。 |

| | | | |
|---|------------|-------------------|------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 12人 (100%) | 0人 (0%) | 12人 (100%) | 0人 (0%) |
| （主な就職、業界等） 歯科技工所、歯科診療所等 歯科技工士12名 | | | |
| （就職指導内容） 副学院長・学生部長による就職ガイダンス、教職員による個別指導等を実施。 | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等）） 歯科技工士国家資格取得 | | | |
| （備考）（任意記載事項） | | | |

| | | |
|----------|----------------|-----|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |

| | | |
|--|----|----|
| 19人 | 0人 | 0% |
| (中途退学の主な理由) | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 教職員によるカウンセリング、保護者面談等を実施。 | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|--|-----------|-------------|-----------|--------------------|
| 歯科衛生士科 (R5 入学生より) | 200,000 円 | 500,000 円 | 250,000 円 | |
| 歯科衛生士科 (R4 入学生まで) | 200,000 円 | 500,000 円 | 150,000 円 | |
| 歯科技工士科 (R5 入学生より) | 200,000 円 | 600,000 円 | 450,000 円 | 2年次のその他は 500,000 円 |
| 歯科技工士科 (R4 入学生まで) | 200,000 円 | 600,000 円 | 400,000 円 | 2年次のその他は 450,000 円 |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| 入学希望者の兄弟姉妹・父母・祖父母・配偶者が本学院を卒業又は在学している場合に入学金の半額を免除する「ファミリー支援制度」、歯科衛生士、または歯科技工士の資格保持者がもう一方の資格を取得する為に入学した場合に入学金を減免する「ダブルライセンス志願者支援制度」、進級時の成績上位者で他の学生の模範となる者を学内で選抜し、返還不要の奨学金を給付する「札幌歯科医師会奨学金制度」を実施している。 | | | | |

b) 学校評価

| | | |
|--|------------------------|----|
| 自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://sapporo-shikagakuin.ac.jp/school/disclosure.html | | |
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) | | |
| 評価委員は歯科教育分野や医療界などに精通し、教育に関し広く高い見識を有するもので組織し、本校の自己評価に関する検証を行うとともに、1. 本校の教育理念および教育目標に関する事項、2. 教育活動に関する事項、3. 社会との連携に関する事項、4. 学校運営に関する事項などについて調査審議し、学院長に答申する。本学はその答申を受け、今後の改善策などを検討協議し、良質な学校運営の推進に反映させる。 | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 一般社団法人札幌歯科医師会 | 2024. 4. 1～2025. 3. 31 | 役員 |
| 一般社団法人北海道歯科医師会 | | |
| 一般社団法人北海道歯科衛生士会札幌支部 | | |
| 公益社団法人北海道歯科技工士会 | | |
| 札幌歯科学院専門学校同窓会 | | |
| 学校関係者評価結果の公表方法 | | |

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<https://sapporo-shikagakuin.ac.jp/school/disclosure.html>

第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<https://sapporo-shikagakuin.ac.jp/>